

竹野鉷山プロジェクト

明治の終わりから戦後までの40年間
金銀の採掘でにぎわった竹野町の一大産業

今もその面影を色濃く残す**製錬所跡**

廃墟マニアも注目するこの遺構を保存活用し、
オプションルツアーとして中竹野の魅力を発信したい。

中竹野地区コミュニティ2024

竹野町には明治の終わりから戦後までの40年間、
金銀の採掘でにぎわった一大産業がありました。
今ではその栄光も忘れ去られようとしています、
東大谷地区の山中には神子畑選鉷場にも見劣りしない
巨大なコンクリート造りの製錬所跡が残っています。

最盛期には月に2トンもの金を生産したといいますが、
私たち竹野鉷山プロジェクトはこの廃墟マニア
も注目する遺構を保存活用してオプションルツアー
を実現し、中竹野地区の魅力を発信したいと計画し
ています。

400名もの人々が働いていた鉱山の町(昭和15年頃)



ここには400名近くの人々が働き、社宅が立ち並び理髪店や倶楽部に毎月の映画上映もあったといえます。

さんじんじゃ

また、露店も立ち並ぶ山神社のお祭りには各地からたくさんの人々が訪れ大変にぎわったようです。右手の斜面に見えるのが製錬所です。

▲與三右衛門

日本鉱業竹野鉱山東大谷精錬所(昭和18年頃)



中竹野地区の人々もたくさん働いていました。

竹野鉱山で働く中竹野の人々(製錬所の前で)

これまでの取り組み

①現地調査・聞き取り調査
神子畑選鉱場の視察研修



樹がうねるように生えてる神秘的な精錬所の遺構

この遺跡にはコミュニティ設立当初から注目しており、まずは地元の皆さんに平安時代のころより金山で栄えていたことを知っていただき、その文化的価値を共有しようと参加者を募り、現地調査や、生野銀山と共に日本遺産として登録された神子畑選鉱場・明延鉱山の視察を重ねてきました。



令和3年度より、産業遺産コーディネーターとして神子畑選鉱場や摩耶観光ホテル、旧奈良監獄など、日本各地でご活躍中の前畑洋平氏をアドバイザーとして迎え、廃墟マニアから見た竹野鉱山製錬所の遺産的価値や取り組みの方向性を探ってきました。



令和4年度夏、コンクリート壁が10段近く重なるその最上部に上るため、急な斜面にハシゴを設置し、早速秋に一般の方を募集し見学会を開催しました。簡易的なもので少し不安定なところもありますが、女性も上部まで上がって精錬所の全貌を見ていただくことが出来ました。

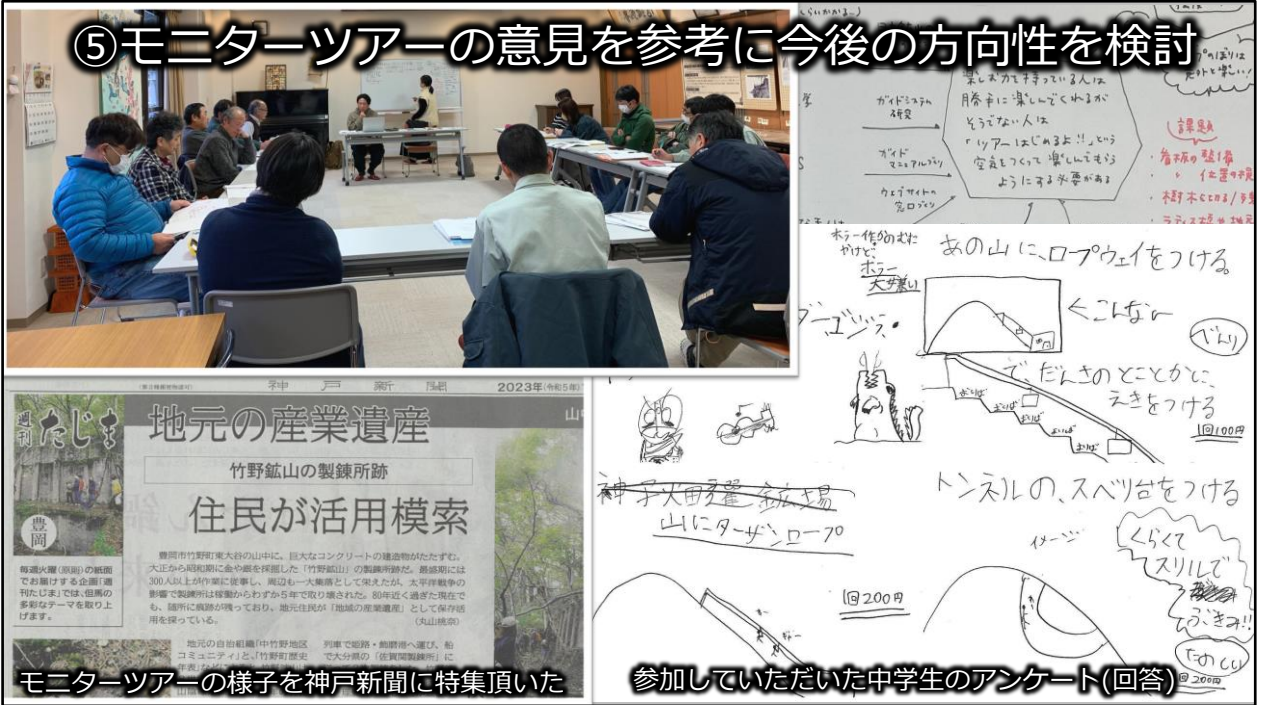
④豊岡市地域コミュニティ活動促進事業交付金を受けての取り組み



京阪神、福岡、東京などから22名の参加があったモニターツアー

令和5年度、豊岡市地域コミュニティ活動促進事業交付金を利用し、前畑アドバイザーのお声掛けで廃墟に詳しい専門家を集めたモニターツアーを催行していただきました。これには土木工学専門家や建築士、プロデューサー、フリーライター、トラックドライバー、コミュニティデザイナー、大学教員、芸大生、中学生など様々な分野から22名の参加を賜り、たくさんの助言をいただくことができました。今後はこれらのアドバイスをもとに安全性を考慮しつつも好奇心をそそる整備や情報発信を行い、ツアーガイドの養成などにつなげたいと考えます。引き続き前畑アドバイザーのお力をお借りしながら地域に根差した取り組みとなるよう進めたいと考えます。

⑤モニターツアーの意見を参考に今後の方向性を検討



前畑アドバイザーとこれまで現地調査などに参加し協力を申し出て頂いた皆様にお集まりいただき、今後の竹野鉦山プロジェクトの方向性について協議いただきました。

たくさんのご意見を頂戴しましたので前畑アドバイザーには年度末にもう一度お越し願ひ、早期に整備を進め、試験的ツアーの開催を目指して行きたいと考えています。

幅広い世代の意見交換の場

ふれあい居酒屋

3回ほど/年

みんなでワイワイ・ガヤガヤ楽しもう
世代間交流減少の声から生まれたコミュニティ居酒屋

話しやすくリラックスした雰囲気を提供



人材発掘の場へ

みんなでワイワイ・ガヤガヤ楽しもう。

以前は飲み屋さんや地区の集まりでお酒を楽しむ場面がたくさんありましたが、最近では友達と飲み交すことも少なくなりました。

そこで幅広い世代の意見交換の場を作ろうとふれあい居酒屋を立ち上げました。

ここでは普段の会議では言えない意見やアイデア、不満を共有し合う場として楽しい雰囲気を提供しています。そして、知り合いを広げ、新たな人材を発掘できればと考えています。



夕方5時から8時までの3時間、お酒や不満の持ち込み、おつまみの差し入れも大歓迎。中竹野の住民は送迎可能。

ただし参加費とお酒のお代はその都度清算箱に入れて頂きます。

子供たちからお年寄りまで、普段顔を見かけないお母さんや中竹野以外からも噂を聞きつけて参加いただいています。

終わりの時間も忘れてあちらこちらで会話がはずみました。

KIAC様とのコラボ企画 波田野州平「海やまの宴」



交流の広がり

同じ町内でも知らない行事がたくさんあることに興味津々

そして今年度、竹野各地のお盆の行事を撮影し、滞在制作されていた映像作家の波田野州平さんに出会い、地域の皆さんへのお礼にと映像を流す場所を探していらっしゃるとの声をを受けて、私たちのふれあい居酒屋と城崎国際アートセンター様とのコラボ企画が生まれました。



会場には竹野、城崎、豊岡と中竹野地区以外からたくさんの方々にお越しいただき、会場に入りきれないほどの大変なにぎわいとなりました。そして新たな出会いがあちらこちらで生まれたようです。これからもこのふれあい居酒屋が新たなつながりを築けるような場になればと改めて思い直すことができました。

ありがとうございました
皆さんもこの魅力あふれる中竹野に
お立ち寄りいただければ幸いです

中竹野地区コミュニティ2024